

# 史料保存利用問題シンポジウム

## 地域史料の保存利用と 公文書管理の在り方

日時：2017(平成29)年6月24日(土) 13:30~17:30

会場：駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館 1-204 教場

〈事前申込不要／入場料無料〉

開会挨拶：高埜利彦（学習院大学教授 日本学術会議会員）

### 報 告

西向 宏介（広島県立文書館主任研究員）

**自治体文書館のあゆみと地域史料保存—広島県立文書館の場合—**

上田 良知（神奈川県立公文書館非常勤職員）

**神奈川県立公文書館の現状と課題—全量選別と人員配置を中心に—**

小関悠一郎（千葉大学教育学部准教授）

**地域史料の保存利用と資料ネット**

**—千葉歴史・自然資料救済ネットワークの活動を通して—**

コメント 若尾政希（一橋大学教授 日本学術会議連携会員）

閉会挨拶：木村茂光（日本歴史学協会会長 日本学術会議連携会員）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

日本学術会議史学委員会歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会